

代表質問通告書一覧（9月24日）

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
 <p>(8 番) 浦西 敦史 (創生奈良) 【一括質問】</p>	<p>1 新型コロナウイルス感染症への対応について</p> <p>(1) 国に対し「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」を要請せず、県独自に「緊急対処措置」を実施していることについて、改めて知事の考えを伺いたい。</p> <p>(2) ワクチン接種が現在も進行中の都市部や大都市通勤圏での感染増加が目立っているが、ワクチン接種状況と今後の接種率拡大に向けた取組について伺いたい。</p> <p>(3) 2学期が始まり、学校現場での感染予防が非常に重要である12歳以上の子どものワクチン接種の推進に向けて、どのように進めていくのか。</p> <p>2 学校での新型コロナウイルス感染症への対策等について</p> <p>安全で安心な学習環境を確保した上で、児童生徒のコミュニケーション豊かな対話的な学びや多様な体験活動を保障していく必要があると考えるがどうか。</p> <p>3 奈良県における地域デジタル化について</p> <p>行政事務の効率化などの「行政」のデジタル化のほか、県民生活の質の向上につながる「家庭」のデジタル化、県経済・産業振興につながる「経済」のデジタル化の3分野について、奈良県にふさわしいデジタル化のあり方を検討されていると聞いているが、地域デジタル化をどのように進めていくのか、知事の所見を伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>教 育 長</p> <p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
<p>(8 番) 浦西 敦史 (創生奈良)</p>	<p>4 県の公共施設への県産材の利用促進について</p> <p>木造、木質化により近年建設、改修された県の公共施設では県産材をどのように使用されているのか。また、県の公共施設における県産材の利用促進のため、今後どのように取り組んでいくのか。</p> <p>5 大和トウキの生産振興について</p> <p>今後の県産大和トウキの需要に対応するため、生産振興に向けてどのように取り組まれているのか。</p> <p>6 鳥獣被害対策について</p> <p>野生鳥獣による農業への被害は依然深刻な状況が続いている中、本県での鳥獣被害対策の状況と今後の取組について伺いたい。</p> <p>7 京奈和自動車道の供用済み区間の維持修繕について</p>	<p>知 事</p> <p>食と農の振興 部 長</p> <p>食と農の振興 部 長</p> <p>【 要 望 】</p>
 <p>(1 6 番) 太田 敦 (日本共産党) 【一括質問】</p>	<p>1 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症を抑え込むためには、PCR検査をさらに拡充する取組が必要と考えるが、どうか。</p> <p>(2) 症状のある方に、一定の医療を提供するなど、宿泊療養施設における医療体制を厚くして、安心して、施設療養をおこなえるように対策を講じる必要があると考えるがどうか。</p>	<p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理 事 者
<p>(16番) 太田 敦 (日本共産党)</p>	<p>2 大規模広域防災拠点整備について</p> <p>(1) 2000メートル滑走路の整備計画は見直し、消防学校の建替を急ぎ、ヘリポートを備えた広域防災拠点を整備すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 大規模広域防災拠点の整備に際し、自然環境を破壊し、崩落事故のリスクを高める盛り土建設は見直すべきと考えるがどうか。</p> <p>3 障がい者の工賃向上について</p> <p>県が就労継続支援事業所を支援し、障がいのある人の工賃を向上させることが必要と考えるがどうか。</p> <p>4 平群町のメガソーラー開発計画について</p> <p>平群町のメガソーラー開発については、皆伐を実施したことにより住民の不安が高まっているが、開発許可に照らして、工事の進め方に問題があったと考えるがどうか。また、応急防災対策工事の進め方についても問題があったと考えるが、どうか。</p> <p>5 県産農産物の販路拡大について</p> <p>米農家を含めた農家全般の継続的な生産を支援するためには、様々な販路を拡大していくことが重要であると考えますが、農産物直売所などの地産地消を進める取組や販路を拡大するための県の取組について伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p> <p>水循環・森林・ 景観環境部長</p> <p>食と農の振興 部 長</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(16番) 太田 敦 (日本共産党)</p>	<p>6 子ども医療費助成制度について</p> <p>(1) 奈良県では、令和元年8月から、未就学児を対象に医療費助成の現物給付方式が導入されているが、子育て支援の充実を図るため、さらに小中学生まで対象を拡充すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 県の補助基準における定額一部負担金や所得制限を廃止し、子ども医療費の医療機関窓口での支払いを無料化すべきと考えるがどうか。</p> <p>7 県立高校のパソコン購入について</p> <p>県立高校においても小中学校と同様に、パソコンを学校の備品として購入し、生徒に貸与すべきと考えるがどうか。</p>	<p>医療・介護保険 局長</p> <p>教 育 長</p>
 <p>(18番) 清水 勉 (日本維新の会) 【一括質問】</p>	<p>1 西和医療センターの移転・再整備について</p> <p>西和医療センターについては、移転建替を行う場合は、JR王寺駅南側が候補地とされているが、現在は電車の留置線として利用されており、事業用地の確保が非常に困難であるとともに、用地費や移設補償費などが多額になると思われる。また、同地は洪水浸水想定区域であるなど、防災の観点からも問題のある場所だと考える。このような状況を踏まえると、西和医療センターの移転候補地の見直しが必要と考えるがどうか。</p>	<p>知 事</p>

質問者名	質問項目及び質問の要旨	答弁を求める 理事者
<p>(18番) 清水 勉 (日本維新の 会)</p>	<p>2 奈良県大規模広域防災拠点の整備について</p> <p>本年7月の政府要望資料等によると、大規模広域防災拠点については、2000m級滑走路を備えるⅢ期整備までに累計約720億円の事業費を要すると想定されており、事業期間も令和7年度まで延長された緊急防災・減災事業債の事業期間を超えることになると思われるが、どの範囲まで、緊急防災・減災事業債が活用できると考えているのか。</p> <p>3 総力戦で挑む防災・減災対策について</p> <p>(1) 本県では、大和川流域において大和川総合治水対策事業を進めているが、市町村の取組にばらつきがある等の問題があり、近年の水害の発生状況を踏まえると、事業実施の加速化が必要であると考えます。平成緊急内水対策事業及びため池を利用した治水対策事業の進捗状況と、今後の進め方について伺いたい。</p> <p>(2) 下流域での浸水被害を軽減するため、流域が広い上流域の山間地において広範な面積を有する森林の保水力向上対策が重要と考えるが、今後の取組方針について伺いたい。</p>	<p>知 事</p> <p>知 事</p>